

青青會

平成三十一年 三月二十一日 (木・春分の日) 午後一時半開演

杉並能樂堂

大蔵流狂言 第六十三回 ◆入場料 全席自由席 (見所は座敷です) 一般 2000円 学生 1000円



一般財団法人 杉並能樂堂主催

Suginami Nohgakudo

杉並能樂堂

十貫坂上

※駐車場はございませんので
車での来場はご遠慮下さい

中野通り

マルエツ プチ●

●和菓子店

タバコ店●

●クリーニング店

寿橋

中野富士見町駅
Nakano-fujimicho Sta.

東京メトロ丸ノ内線 中野富士見町駅より徒歩5分

杉並能樂堂

〒166-0012

東京都杉並区和田 1-55-9

TEL 03-3381-2279

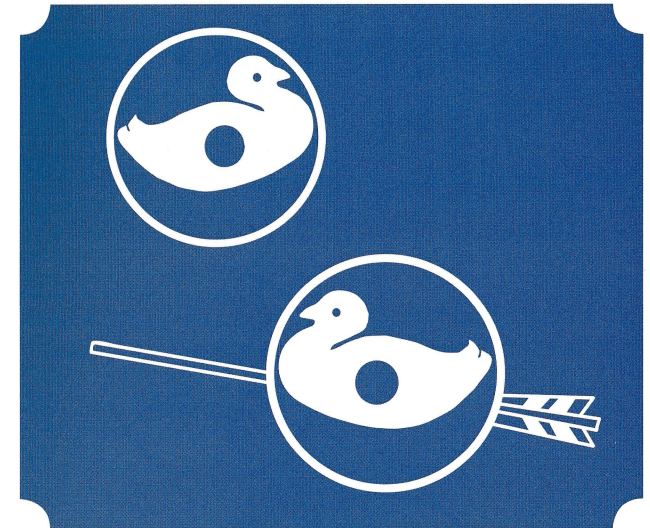
表紙 立浪 (山本東次郎家所蔵 肩衣より)

Photo: Yoshiaki Kanda

《あらすじ Stories》

◎縄綯 (なわない)

博打でさんざんに負け、有り金どころか召使いの太郎冠者までもカタに取られてしまった主人、ほんとうのことを言ったら相手方には行かないだろうと思ひ、手紙を持って使いに行くよう言いつけます。相手の家に行つて初めて真実を知らされた太郎冠者は反抗して仕事をしませぬ。そこで一旦、主人の元に返すことになりましたが、太郎冠者は嬉しさのあまり、得意の縄を綯いながら、調子に乗つて相手の家の悪口を言い始めます。



「縄綯」シテ着用肩衣より (山本東次郎家所蔵)

青青会 番組

八幡の前

シテ（髯）

山本凜太郎

アド（有徳人）

山本 則重

アド（太郎冠者）

山本修三郎

アド（教え手）

山本東次郎

名取川

シテ（出家）

若松 隆

アド（何某）

山本 則俊

—— 休憩 ——

縄 絢

シテ（太郎冠者）

山本泰太郎

アド（主）

山本 則孝

アド（何某）

山本 則秀

お 話

山本 東次郎

◎八幡の前（やわたのまえ）

京都・石清水八幡宮の山麓に住む有徳人（裕福な人）が一人娘に一芸を持った髯を迎えたいと高札を立てて募集します。それを見た若者は得意とするものはまったくありませんが、何か一芸を身につけて髯に応募したいと虫の良いことを考え、いつも世話になっている人を訪ねます。無教養な若者を何とか弓矢と歌道に秀でた者に仕立ててやろうと四苦八苦、いろいろ知恵を付けられた若者は得意になって有徳人の家を訪れます。

◎名取川（なとりがわ）

比叡山で受戒の儀式を受け、得意満面の出家は故郷に戻る途中、ある山寺で二人の美しい稚児に出逢います。都近くの上流階級の子息でしょう、出家は知り合いになりたくて、まだ名を持たぬ自分に名前を付けて欲しいと二人に頼むと、それぞれ「きたい坊」「ふしよう坊」と付けてくれました。その名を忘れぬよう、衣の袖に墨で書いてもらい、はしやぎながら国元に向かった出家ですが、途中、川を渡ろうとして転び、大事な名前を流してしまいます。慌てた出家は懸命に名前を掬おうとしますが…。